

産婦人科における研修の目標、方略(方法)及び評価

1 独自の研修目標・目的

産婦人科領域におけるプライマリ・ケアの習得。

2 産婦人科研修の特徴

プライマリ・ケアを念頭に、産婦人科領域の緊急を要する疾患、病態ことに急性腹症について研修を行なう。

産科領域では、正常分娩の管理と緊急処置を要する病態について研修を行なう。

3 研修の目標・目的達成のための方略・方法

産婦人科の入院患者は産科(周産部)と婦人科(婦人科病棟)に分かれており各々で診療を行っている。同時に、毎日の外来診療は新患、再来、妊婦再来を3つの柱に行っている。手術は週3日(月、水、金)行っているが、臨時緊急手術も多く、その研修もある。

研修は夜間も含めた緊急症例(分娩、急性下腹痛)にはできるだけ診療の中心となって参加してもらおう体制で行なう。

上記の合間に、産科手術、婦人科手術に参加し、下記の検査等についても研修を行なう。

4 目標達成の評価

当院作成の評価表に研修医評価及び経験症例数を記入し、指導医の評価を受ける。ローテーション終了時において指導医や看護部による総合的評価を受ける。

5 検査

産科、婦人科とも、救急疾患を含め、超音波法による情報が現在の診療に不可欠なため、この研修を行なう。その他産婦人科の一般検査を行なう。

6 カンファランス

産婦人科カンファランス(週一度、手術予定例、重症入院患者例の検討を中心としたミーティングを行っている。適宜文献の抄読も輪番性で行っている。)

周産期カンファランス(週一度、小児科と合同でハイリスク妊娠、ハイリスク胎児、新生児についての検討を行っている。)

病理、放射線科合同カンファランス(月に一度、合同のカンファランスを行っている。)

7 週間スケジュール

	午前	午後	夕方
月	外来	手術	
火	外来		カンファランス
水	外来	手術	
木	外来	総回診	カンファランス
金	外来	手術	